

地区別市政懇談会 当日質疑応答要旨一覧 鶴巻地区  
平成29年10月28日(土) 鶴巻公民館

第1部(1) 地域のまちづくり計画について  
取組状況報告: 企画課長 (別紙)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	県道612号の踏切から延命地蔵までの整備が、今年度で完了とのことだが、確実にやっていただきたい。	《要望》		駅前広場の整備に併せて完了する予定です。	国県事業推進課

第1部(2) 地域の課題として事前にあげられたテーマについて

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
2	鶴巻地区の活性化について 鶴巻温泉の観光による活性化について	<p>平成22年2月に鶴巻温泉街再活性化構想を策定以来、鶴巻温泉北口周辺地区の活性化に取り組んできた。新源泉「つるまき千の湯」の湧出、平成26年度の手湯の設置、平成27年度の足湯及び源泉持ち帰りスタンドなどの整備を進めてきた。</p> <p>平成28年度には、「日本有数のカルシウム含有量を誇る名湯「鶴巻温泉」表丹沢(大山)の広域連携によるまちづくり・経済活性化支援事業」が地方創生推進交付金事業として国に採択され、3か年計画で事業を進めている。平成28年度は、観光客の回遊性を高めるため、大山ケーブル駅と鶴巻温泉を公共交通機関で結び、鶴巻温泉地区の観光客の増加や経済の活性化を図るため、関係機関等による会議の立ち上げ、観光ニーズの把握調査、路線バスの運行計画案の策定、観光振興策の検討を行った。</p> <p>今年度は、11月3日から平成30年2月4日までの土日・祝日(年末、正月を除く)に、鶴巻温泉駅北口から大山ケーブルバス停までの約8kmで、バスの実証運行を行い、便数は、鶴巻温泉→大山行きが2便、大山→鶴巻温泉行きが8便の予定。地元の皆様もぜひ利用して、本格運行に協力してほしい。</p> <p>さらに、鶴巻温泉に立ち寄るお客様へのおもてなしを、地元商店街と一緒に調整中。</p> <p>また、老朽化した鶴巻温泉駅北口の案内看板は、平成30年完成予定の南口の整備を踏まえ、皆さんの意見を聞きながら調整する。</p>	観光課長	当日の回答に同じ。	観光課

2	<p>鶴巻地区の活性化について 鶴巻温泉駅南口周辺整備事業の進捗状況</p>	<p>平成30年3月末の供用を目指し、「駅前広場」や「県道立体横断施設」の整備、並びに小田急電鉄が施工する「駅施設整備」を進めている。 このうち、「県道立体横断施設」の橋梁(桁)架設工事が9月に完了し、現在はシェルター(屋根)の設置や駅西側のエレベーターの設置工事を行っている。「駅前広場」は、ロータリー部分の施工の準備作業を行っており、今後は、「県道立体横断施設」の修景工や、「駅前広場」整備工事、地域の皆様から要望いただいた「公衆トイレ」の設置などを順次進める。また、民間建物を利用した「駅前連絡所」についても、本事業にあわせて供用できるよう調整中。現地では多くの工事が重なっており、安全かつ円滑に進むよう、施工業者間の調整に努める。 小田急電鉄が施行する「駅施設の整備」については、今年度、下りホームのエレベーターの設置や既存上屋の改築等を行い、来年3月末には、南口橋上改札口の開設と駅施設内のエレベーターの供用開始ができるよう調整を図っている。 来年度、30年度に、跨線橋の新宿側に設けるエスカレーターの供用や、既設改札口の撤去等を行い、「駅施設整備」の全ての事業が完了する。</p>	<p>都市整備課長</p>	<p>駅前広場及び南口橋上改札口等の供用開始時期は、6月下旬を見込んでいます。なお、「駅前連絡所」は4月1日に開設します。</p>	<p>都市整備課 戸籍住民課</p>
3	<p>県道の歩道整備について ① 県道612号線(延命地藏尊交差点からおおね公園まで) ② 県道612号線(延命地藏尊からサンライフ入口まで)</p>	<p>① 県全体から見た事業の優先度や他の事業箇所の進捗状況を考慮しながら検討していくとのこと。なお、現道内で可能な整備として、開口部の大きい側溝の蓋かけ等により歩行者の安全対策を図るとのこと。現在は、関係地権者の同意を得て現地調査に入っており、今年度中には測量・設計を実施とのこと。 ② 一部(交差点から落幡バス停付近まで)には歩道が両側に整備されているが、バス停からサンライフ入口信号までは、歩道がない現状である。地元の意見は市や県にも十分届いているが、現在、県では鶴巻温泉駅南口の道路整備(延命地藏尊先から伊勢原15踏切までの整備)に注力して進めており、この路線が完成した次のネットワークとして、613号の歩道設置を将来的な課題と考えているとのこと。市としても、引き続き粘り強く県に要望していく。</p>	<p>国県事業推進課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>国県事業推進課</p>

3	<p>県道612号線で、西光寺の角のガードレールが、事故で壊れ撤去されたままだが、設置の予定はあるか。歩道が狭く斜めで通りにくい上に、ガードレールが無いのは怖い。事故の多い場所なので、設置してほしい。</p>	<p>早速月曜日に、平塚土木事務所に行って確認する。</p>	<p>国県事業推進課長</p>	<p>ガードレールを設置すると歩道の幅員が狭くなるが、地元(自治会)として、設置の要望があれば検討する。 (県の回答)</p>	<p>国県事業推進課</p>
3	<p>巨大地震が起きたときに必ず死守する緊急輸送路として、県道612号と613号の整備を強く要望する。踏切から延命地蔵までが完了しないと次に進まないとのことなので、必ず早くやって欲しいが、その見通しはどうか。</p>	<p>県道612号線の歩道整備については完了。駅前広場も、車道は段差になっているが、歩道整備は完成しており、電線共同溝等の工事を来年度以降進めると、平塚土木事務所から聞いている。</p>	<p>国県事業推進課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>国県事業推進課</p>
4	<p>通学の安全確保について  ① 極楽寺前の通学路は、歩道が無く大変危険だ。何年も要望しているが、事故があつてからでは遅いので、ぜひ、前向きな対応をお願いする。  ② 小田急踏切付近は、コンクリート舗装の坂道と、アスファルト道路のどちらにも停止線が無く、危険な状態である。  ③ 鶴巻温泉2号踏切前のカーブミラー  ④ 鶴巻中学校西側のクランクは、用地買収済みと聞いているが、整備計画のスケジュールはどのようか。</p>	<p>① 昨年の地区懇で「イメージ歩道(路側帯に緑色のカラー舗装)を整備」と回答し、警察等と協議の結果、今年度工事できることになった。11月から12月までを工期に、市道64号線のつまき北公園前交差点付近から極楽寺入口まで約420メートル、片側(小田急線側)に、イメージ歩道の整備をする。極楽寺より先は、今回、道路付近の関係で整備できなかったが、引き続き学校関係者、警察と協議しながら安全対策を図る。  ② 警察の方と現地を確認したところ、「ある程度見通しが良く、『一旦停止』については今後検討する。仮に『一旦停止』にすとしても、実現するには1年半くらいかかる」とのこと。そこで、交差点にT字型の白い表示を描く、また、アスファルト道路の優先を表すため、交差点のアスファルト道路側に破線のラインを引く予定。  ③ 駅に向かう道路では、ご指摘のとおり鶴巻温泉2番踏切前にカーブミラーは無かった。片側のカーブミラーを、今年度、2学期の始業前に設置した。今後も学校関係、自治会、警察等と協力しながら通学論安全確保を図っていきたい。</p>	<p>建設管理課長</p>	<p>①当日の回答と同じ  ②当日の回答と同じ  ③この交差点(踏切前)については、カーブミラーの設置後、ライン処理を行い安全性の向上を図るため、警察協議や線形の検討を行っている。</p>	<p>建設管理課</p>

4	<p>通学の安全確保について</p> <p>① 極楽寺前の通学路は、歩道が無く大変危険だ。何年も要望しているが、事故があつてからでは遅いので、ぜひ、前向きな対応をお願いします。</p> <p>② 小田急踏切付近は、コンクリート舗装の坂道とアスファルト道路のどちらにも停止線が無く、危険な状態である。</p> <p>③ 鶴巻温泉2号踏切前のカーブミラー</p> <p>④ 鶴巻中学校西側のクランクは、用地買収済みと聞いているが、整備計画のスケジュールはどのようか。</p>	<p>④ 現在のクランク状の道路から緩やかなS字形状へ改良するとともに、中学校側に幅員2mの歩道を設置し、全体幅員6.7mの道路を整備する。</p> <p>昨年度、土地を取得し、今年9月末に着工、12月末に完成予定。現在、従来の車道を大きく変える工事をしており、歩行者通行帯は確保できるが、11月中旬から1か月間、車両は昼夜間通行止めになる。ご不便をかけるが、児童・生徒の安全確保のため、しばらく御協力をお願いします。</p>	道路整備課長	④ 鶴巻中学校西側のクランク状の道路を解消する工事を完成させた。	道路整備課
5	鶴巻地区まちづくりへの支援について「子どもや高齢者の居場所づくりプロジェクト」として	<p>市民活動支援課では、今年度から、まちづくり拠点の設置に対する経費の一部を支援している。</p> <p>また、鶴巻地区のまちづくり委員会から、地域ぐるみでの子育ての視点で「居場所作りプロジェクト」が提案され、平成30年度の市民提案型協働事業として採択された。この事業は、地元の自治会や民生委員の方々が構成された組織が、鶴巻地区には未設置の「子育て支援センターぽけっと21」の役割を担うもので、市民力を活用した「地域ぐるみで子育て世帯を支える」ことを可能にできるものとする。</p> <p>平成30年度においてこの事業の実施状況を検証し、基準をクリアできれば、平成31年度以降は補助対象事業として検討できると考える。市としても、地域と協力し子育て支援をしたいと考えており、この地域一体の「子育て支援」の取り組みが鶴巻地区から発信されることで、他の地域でもこうした気運が高まることを期待している。</p>	子育て支援課長	当日の回答と同じ	子育て支援課
6	おおね公園を防災拠点として整備することについて新たな駐車場、体育館、集会所等を建設し、災害時の避難所としての機能を持たせ、地域の防災拠点として整備してほしい。	<p>今後、市全体の避難計画の見直しの中で、所管であるスポーツ推進課と公園管理者との間で、既存施設の有効活用を防災の観点から協議・検討していきたい。</p> <p>おおね公園多目的広場は、現在、自衛隊の災害派遣に係るヘリコプターの離発着場となっている。その他にも、大根鶴巻地区では大根小学校と鶴巻中学校がヘリポートの位置づけになっている。</p>	防災課長	当日の回答と同じ	防災課

6	<p>おおね公園を防災拠点として整備することについて新たな駐車場、体育館、集会所等を建設し、災害時の避難所としての機能を持たせ、地域の防災拠点として整備してほしい。</p>	<p>おおね公園の駐車場は、東側に193台、中央園路に臨時用として44台計画されており、他の類似施設と比較して決して少ない訳ではない。最近の利用状況は、平成28年2月～平成29年6月の17か月のうち、満車となり臨時駐車場を利用したのは14日間で、それ以前に比べ減少傾向にある。その利用台数は、「市民体育祭」を除き、数台程度。このような状況から、現時点で、スポーツ施設として駐車場を拡張する考えはない。</p> <p>満車になるのは大きな大会やイベントの日に限られるので、主催者に対し引き続き、公共交通の利用、乗り合いでの来場や交通誘導員の配置等を働きかける。また、状況によっては温水プールやトレーニングルームの営業を制限するなど、混雑の緩和に努めたい。</p>	<p>スポーツ 推進課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>スポーツ 推進課</p>
7	<p>おおね公園人工芝生化と、観客席の整備について</p>	<p>今年7月に着工し、現在、基盤となる地盤の改良を行っている。11月中旬に人工芝を貼り始め、工期は12月末までの予定。</p> <p>完成後も、「市民体育祭」「市民ふれあいまつり」等地域のイベントでは、引き続き利用可能だが、火気の使用および飲食は禁止とする予定。テントやステージを設営する際は、ベニヤ等を敷く等の対策が必要。車両は小型車に限定し、必要最小限の車両については乗り入れも一部可能と考えている。</p> <p>観客席については、この広場は多目的広場で色々な競技での利用を想定しているため、固定のものは設置しない。新たにアルミ製ベンチを16台購入し、競技に合わせた移動型の観客席を考えている。従前の木製ベンチも、整備を行い再度設置する。</p> <p>いずれにしても、「市民体育祭」「市民まつり」等では、事前に自治会、体育協会等とも打ち合わせする中で、細かいルールについては調整したい。</p>	<p>スポーツ 推進課長</p>	<p>利用者からは観客席の整備についての要望は聞いていない。適宜アルミ製ベンチを移動し利用してもらっている。利用者も増え、概ね好評であると考えている。</p>	<p>スポーツ 推進課</p>

8	<p>① ゴミ袋の有料化について、現段階での検討状況</p> <p>② 分別の種類を増やしてはどうか</p> <p>③ リーフレットの全戸配布や、官公庁等の啓発ポスター掲示してはどうか</p> <p>④ 小中学校や公民館、官公庁での分別の取り組みはどのようなか</p> <p>⑤ 環境講座の開設について</p>	<p>① 現在、秦野市の可燃ごみの焼却は、はだのクリーンセンター(200t/日焼却施設)と伊勢原清掃工場(90t/日焼却施設)の2施設体制だが、平成37年度末までに、はだのクリーンセンター1施設体制に移行する。はだのクリーンセンターの可燃ごみ処理能力は、秦野市分で年間33,600tなのに対し、平成28年度の可燃ごみ実績は約40,300tで、やく6,700tの削減が必要。その対策として、①可燃ごみの22.4%を占める草類を分別収集し、資源化する。②さらなる分別の徹底、資源化をPRし、呼びかける。③増加傾向にある事業系ごみに対し、展開検査を行い分別の徹底強化。これらの対策を実施し、中間目標年度の平成33年度までに計画どおり進まない場合には、有料化の導入に向けた検討を進める。現時点では、具体的な検討は行っていない。</p> <p>② 分別種類を増やすことは、市民に負担をお願いすることになるが、今後、「草類」を分別収集するので、ご協力をお願いする。</p> <p>③ 平成27年に「ごみの資源と分け方」ガイドを全戸配布した。その中の17ページに、「ゴミを減らすための新たにできる3Rの啓発効果」がある。お手元に無いようなら、公民館に置いてある。官公庁への掲示等については、現在、「キエーロ」という生ごみ処理機を展示しており、今後も引き続き生ごみについてPRする。</p> <p>④ 各学校には生ごみ処理機が設置されており、給食の調理くずや残飯をたい肥化し、市や児童に配布している。市役所各課からのゴミは、一時多量発生ゴミの指定を受け、クリーンセンター搬入前に我々が中身を確認し、分別資源化している。</p> <p>⑤ 幼少時の環境教育は、ゴミ対策の関心を高め、各家庭での分別の徹底及び適正な排出への効果が考えられるため、教育委員会や関係機関と連携し、出前講座や施設見学等の実施に努めている。特に、小学4年生のゴミの話は、我々が説明している。これまでは地域からの依頼で出前講座を行っていたが、今年度は、各地区の民生員児童員、農協女性部会、こども園の保護者に対して、こちらから積極的に行き行って説明している。</p>	環境資源対策課長	当日の回答と同じ	環境資源対策課
---	---	--	----------	----------	---------

8	<p>ゴミの戸別収集を検討してほしい。ゴミを持って行くのに危険な坂道のところもある。藤沢市と鎌倉市、東京都のほとんどが実施している。有料化と併せて検討してほしい。</p>	<p>市内では、東海大学前と秦野駅北口で、夜間の戸別収集を行っているが、これは、夜間の防犯面と、狭い道路で朝の安全面を考慮したもの。戸別収集には費用の問題もありますが、ごみ処理基本計画の中でも計画・検討している。</p> <p>ゴミを持って行けない高齢者や障害者世帯については、介護度に応じて、週2回の訪問収集の制度もあるので、利用していただいで対応していきたい。</p>	環境資源対策課長	当日の回答と同じ	環境資源対策課
8	<p>ラーメンの紙のカップやレシートも資源ゴミとして収集していると聞いたことがあるが、そのようなものを出しているのを見たことがない。もっと広報等でPRすれば増えるのではないか。</p>	<p>《要望》</p>		紙類として資源化できるため広報等での周知に努めます。	環境資源対策課
9	<p>市の防災対策について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 大震災への備えと、避難所運営体制の整備</li> <li>② 秦野市地域防災計画</li> <li>③ 被災者支援システム</li> </ol>	<p>① 備えとして、段ボールベッド、ワンタッチ間仕切り、ハイブリッド発電機、バルーン投光器、プライバシーシート、屋外避難用テント、洋式仮設トイレ等の新たな資機材の配備を行い、また、多様なニーズへの対応を計画的に随時進めている。飲料水(「おいしい秦野の水」)や食料(アルファ米やフリーズドライビスケット等)の備蓄の充実も図っている。</p> <p>避難所運営体制の整備として、昨年からの定期的(年1回)に委員会を開催し、また、避難所23か所での全市一斉の避難所開設運営訓練を通じて、自主防災会、地区配備隊、学校施設管理者との連携の強化を図っている。</p> <p>通常、市のHPには気象情報が載っているが、災害時には専用のページを立ち上げることになっている。</p> <p>情報手段として、防災行政無線の他に、アマチュア無線、市に登録する緊急情報メール、携帯会社から届く緊急速報メール、危機管理ツイッター、tvkデータ放送など様々あるが、今後は、避難所におけるWiFi環境の整備、市内に通じるMCA無線の配備計画の見直し、防災ラジオの導入など、さらに多様化に取り組んでいきたい。</p>	防災課長	当日の回答と同じ	防災課

9	<p>市の防災対策について</p> <p>① 大震災への備えと、避難所運営体制の整備</p> <p>② 秦野市地域防災計画</p> <p>③ 被災者支援システム</p>	<p>② 秦野市地域防災計画は、その内容をどのように実行するかが重要であり、そのために、過去の災害から得た教訓や全国からの情報を参考に勉強し、各担当部局がそれぞれ所管する項目について、BCP(業務継続計画)(通常業務に移るための大事な計画)との整合性を図りながら、各種災害に対応できるよう、随時見直しを図りながら訓練し、そして、訓練をしたら見直し、また訓練をやってみてまた計画を見直すという、PDCAサイクルをしながらマニュアル等を整備していく必要がある。なお、資料編は長期間更新されていなかったが、ここで準備が大体整ったので、今年度中には資料編を改訂する。最新のものは平成28年度の地域防災計画本体のもので、平成28年度に軽微の修正が加えられている。</p> <p>③ 避難所を運営するための入退所の記録や管理関連システム、緊急物資の管理、仮設住宅管理、犠牲者遺族管理、倒壊家屋管理などのシステムを総合して、被災者支援システムと言っている。これは平成27年度末に導入し、平成28年度には職員の操作研修等を行った。また一部、防災訓練において操作訓練を実施し、既にシステムの運用を開始している。</p> <p>本市では、日ごろから、30年以内に高確率で発生するとされる巨大地震を想定して、道路、ライフライン、上下水道の耐震化等のハード対策を行うとともに、備蓄計画や、避難所運営及び災害対策本部運営のための人員体制や本部機能の整備等のソフト対策を進めている。今後とも全市を挙げて、ハード、ソフト両面での災害対策を図る。</p>	防災課長	当日の回答と同じ	防災課
	<p>防災訓練について、これまでは啓発のための訓練だったが、これからは、実際に役立つ避難所運営訓練に移ってほしい。本当に災害弱者への対応が可能なのか、9月3日の総合防災訓練の時に質問したが、関係者は対応に迷っていた。これでは困る。</p> <p>以前は、鶴巻小の地下タンクに60tの水はあっても備品が汲み上げできない状況だったが、その後改善されたのか。秦野市内では、受水槽の水を利用できる学校もあるが、鶴巻ではできない。そのような状況も含め、各地区に合った災害時に役立つ防災訓練、避難所運営訓練をして欲しい。</p> <p>防災講演で「災害時には、訓練した以上のことはできませんよ。訓練ちゃんとしてくださいよ」と強調された。そろそろ切り替えて欲しい。</p>	<p>《要望》</p>			防災課



9	防災備蓄食料は、市民の何日分くらいあるのか。	切迫性のある地震を想定した中で、3日分を備蓄してある。 ここでお願いしたいのは、市も備蓄するが、市民の皆さんも、ローリングストック法を活用し冷蔵庫内も含めて3日分を確保してもらおうと安心だ。 国が推奨しているのは1週間分で、我々もこれに向けて努力していく。	防災課長	当日の回答に同じ	防災課
---	------------------------	--	------	----------	-----

第2部 市政全般について

	質問事項	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
10	大山から鶴巻温泉駅までのバスができるのは素晴らしいことだが、お客様をここに呼ぶための何か、楽しませる手立てを、まちづくりの皆さんは、ディスカッションして具体化しているのだろうか。我々住民も頑張らなければいけないと思う。	その件について、鶴巻の商店会と自治会連合会で話し合いを行っている。11月3日～平成30年2月4日の土日祝にバスの実証運行が行われ、特に紅葉の時期に合わせて色々なイベントを企画している。市民ギャラリーとか北口広場を利用して、若衆囃子、日向薬師の山伏による安全祈願、丹沢・大山・鶴巻の写真展、簡易足湯の設置、地場産品やお土産ものの販売、記念品の配布等。観光課にパンフレットも作ってもらっており、回覧に回すので皆さんにもご協力いただきたい。 市には南口の整備等色々やってもらい感謝しているが、やはり我々が動かないと活性化は出来ないなので、よろしくお願いします。	司会	2月4日で終了した実証運行では、地元の商業者等の皆様にもおもてなしのコーナー運営にご協力いただき、ありがとうございます。引き続き、バス路線の実現を目指した取り組みを進める。	観光課
11	大根川、善波川の遊歩道の整備が進められ、多くの方が散策に利用している。旧ポンプ場がそのままになっている。昨年も、どう使うのか質問したが、観光拠点としての利用を検討してほしい。	《要望》		旧ポンプ場の施設については、大根川への放流施設の撤去工事の完了後でなければ安全な土地利用をすることが出来ません。地元の要望については承知しています。周辺のあじさい遊歩道や地域住民が親しみを持てる空間として利用できるよう、検討していきたいと考えております。	森林づくり課

12	<p>高齢化が進み認知症が大きな問題となっており、予防には早期からの社会参加が重要である。そのような中で、公共施設の利用料が上げられたことは残念だ。上げっぱなしにしないで、利用率や活動の量等、市民の活動への影響を検証してほしい。</p>	<p>《要望》</p>		<p>70歳以上の方のスポーツ施設等の共用使用については、健康増進を目的として、無料化しました。今後も、使用料の見直しに伴う利用者の動向や行財政運営への影響などを検証するとともに、様々な要素を総合的に判断し、将来にわたり持続可能な公共施設サービスの実現に向けて、適切な施策を調査・研究していきたいと考えます。</p>	<p>公共施設 マネジメント課</p>
----	--	-------------	--	--	-------------------------